

サイバーリスク保険セミナーを動画配信

補償内容・対応事例など解説

JEIBジャパン 保険仲立人の加入要件、対応事例などを分かりやすく解説している。近年、サイバーリスクの脅威が拡大するに伴い企業のサイバーリスク保険への注目が集まっていることから、セミナー動画への関心も高まりそう

今回の動画配信は、自然言語処理に特化したデータ解析企業(FRONTEO(東京都港区、守本正宏社長)が手掛けるリーガルテックAI事業の一環として運営するサービスで、JEIBジャパンは、TMI総合法律事務所が主催するオンラインセミナー「Q&Aで学ぶわかりやすい法律実務シリーズ個人情報漏えい時対応のいろは」の第6回「転ばぬ先のサイバーリスク保険とセキュリティ」



左から宮本氏、丹野氏、押野氏

で登壇した。セミナーでは、TMI総合法律事務所パートナー弁護士史氏が進行役を務め、JEIBジャパンの宮本信宏執行役員兼常務執行役員が「サイバーセキュリティの重要性やサイバーリスク発生時の一般的な対応フローを紹介した後、質問に回答する形で、「個人情報漏洩保険とサイバーリスク保険の違い」「サイバーリスク保険の補償内容」「サイバーリスク保険の加入要件」「サイバーリスク保険の補償料」「保険対応の実例」といったサイバー保険の実務について解説した。最後に宮本氏は、「サイバー対策は企業にとって一つの重要な経営課題であり、サイバーアタックが発生した際の対応のみならず、従業員の教育を含め事前の防止策に注力することが望ましい。サイバーアタックが年々巧妙化していることを考えると、毎年、社内ですべてのサイバー対策について慎重に検討を行い、必要に応じて見直しする必要がある」と述べていた。

動画は、FRONTEOのウェブサイトの動画&コンテンツのページで会員登録すれば無料で閲覧できる。